

子どもの発達・学習研究センター主催・鳥取臨床発達研究会共催

事例検討「身体症状や自傷行為を繰り返す高校生に対する支援」

定員 40 名

会費無料

15:00 ~17:00 報告者 大空信(相談員)



思春期・青年期は「疾風怒濤の時代」とも「第二の自我誕生期」とも言われ、子どもから大人への移行期として心と身体のアンバランスな時期でもあります。その結果、気分障害や身体表現性障害などを発症しやすい『心理的危機』として捉えられるわけですが、こうした時期にこそ必要なのは「発達の視点」からのアプローチではないでしょうか。

胎児・新生児期からの「感覚運動経験」に基づく“身体性の発達”について話題提供致します。

<最近の著書>

子どもの感覚運動機能の発達と支援 -発達の科学と理論を支援に活かす- (メジカルビュー社, 2018年)

2018年11月10日

14:00 ~15:00 (受付)13:40 ~

土

場所 鳥取大学教員養成センター

講演 儀間 裕貴 (鳥取大学 特命講師)

申込み方法

お問い合わせ

鳥取大学子どもの発達・学習研究センター

TEL/FAX 0857-31-5958